

【環境基金審査会】会議概要

会 議 名	足立区環境基金審査会（令和3年度第二期）				
事 務 局	環境部長・須藤 純二、環境政策課長・加藤 鉄也				
開催年月日	令和3年7月5日（月）				
開催時間	9時30分から10時30分まで				
開催場所	足立区役所 特別会議室				
出席者 ※：オンライン参加	※倉阪 秀史	※畠中エルザ	市川 おさと	いいくら昭二	ただ 太郎
	※畦上 慎司	※永野 充	森下 秀重		
欠 席 者	町田 怜子				
会議次第	別紙のとおり				
資 料	足立区環境基金審査会資料				
そ の 他					

(加藤鉄也 環境政策課長)

みなさまこんにちは。環境政策課長の加藤でございます。会議に先立ち、一点お知らせいたします。本日は新型コロナウイルス感染症対策として、会場とオンラインを併用した会議となっております。ご発言の際は、なるべくゆっくり、はっきりを意識していただきますようご協力をお願いします。

それでは、倉阪会長、お願いします。

(倉阪秀史 会長)

ただいまから足立区環境基金審査会を開会します。まず、委員定数を確認します。委員定数9人のところ今日は8人出席しておりますので、会議が成立していることを報告いたします。

本日の議事録署名人は、会場にお越しいただいているいいくら委員、ただ委員にお願いします。よろしいでしょうか。

それでは、次第の3、新委員への委嘱状交付について事務局からお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

区議会から推薦いただく委員のうち2名の異動がございました。本来であれば、この場で委嘱状を交付するところですが、新型コロナウイルス感染症の対策として、接触の機会を減らすため、委嘱状はお席にご用意いたしました。私からお二方のお名前を紹介し、委嘱状の交付に代えさせていただきます。

いいくら 昭二 委員

ただ 太郎 委員

以上でございます。

(倉阪秀史 会長)

新委員のお二方、どうぞよろしく願いいたします。続いて次第の4、資料の確認を事務局からお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それでは、配布資料を確認します。まず、事前に郵送した資料として、次第、裏面が委員名簿でございます。申請書類1団体分、評価の方法と採択の基準、評価シートでございます。また、オンラインで参加の委員の皆様には、メールで評価シートのデータをお送りしています。会場の皆様には、机上に評価シートを配布しています。以上でございます。

(倉阪秀史 会長)

資料の不足はございませんか。それでは、続いて次第の5審議の諮問を事務局からお願いします。

(須藤純二 環境部長)

環境部長の須藤です。令和3年度第二期の環境基金助成を募集したところ、1件の申請がありましたので、当審査会に諮問いたします。それでは、諮問書を朗読いたします。

(諮問書 朗読)

以上でございます。

(倉阪秀史 会長)

ただいま、区長から諮問をいただきました。本日は、ファーストステップ1件の申請について審査します。

それでは、次第の6、評価の方法、採択の基準について、事務局からお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

それでは、本日の評価方法をご案内します。前回の評価方法と同じですが、新しい委員もいらっしゃいますので、簡単にご案内します。

今回の申請のファーストステップ助成は書類審査のみとなります。のちほど委員の皆様には審査をお願いします。

次に評価シートをご覧ください。全

部で8項目を5から0までの6段階で評価しますので、点数を記入してください。

評価コメント欄には、活動内容と活動経費の視点からコメントを記入してください。評価する、あるいは評価しない理由、疑問点や条件を付けたいことなど、採択・不採択を判断する際に使いますので、ご記入をお願いします。

次に採択について説明いたします。

事務局で、評価の集計をおこない、結果を画面上に映し出します。その結果を踏まえ、申請について協議いただき、採択・不採択を決定していただきます。

採択の目安は全委員の合計が、60%以上、つまり平均3以上の評価とし、採択・不採択を協議していただきます。特に評価にばらつきがある場合や、活動の一部のみ認める、助成金の使途を限定するなどの条件を付けるときなどは、皆様のコメントなどを考慮して、ご決定いただきたいと思います。

中には、審査が難しいこともあるかもしれませんが、貴重な公費を使つての助成でございます。専門家、区議会議員、区民それぞれのお立場から、審査をお願いいたします。

以上、よろしく申し上げます。

(倉阪秀史 会長)

ありがとうございました。補足しますと、コメントは採択・不採択や条件などの判断材料となりますので、必ず記入してください。

皆様のコメントの中に他の委員が気付かない評価のポイントがあるかもしれま

せんので、協議しながら採択・不採択を決めていきます。採択の目安は60%平均3ということです。

採択・不採択の他にも、一部のみを採択したり、条件を付けることもできますので、それも協議したいと思います。

それでは、審査に入る前に一点確認します。委員の皆様のなかに本日の申請者と活動している、利害関係があるという方は挙手をお願いします。

(挙手なし)

関係者なしと確認しました。それでは、次第の7、ファーストステップの書面審査に入ります。

【審査内容は非公開】

(倉阪秀史 会長)

審査結果は、条件を付けての採択いたします。

それでは、時間でございますので、本日の審査を終了させていただきます。

最後に委員からなにかございますか。私から一言申し上げますと、若干申請件数が少なくなっていますが、公募で区や区民のための環境活動に助成をするという、他にはない珍しい制度なので、有効に活用していただきたいと思います。区の方で申請案件を掘り起こしていただきたいと思います。事務局よろしいでしょうか。

(加藤鉄也 環境政策課長)

しっかり働きかけをしていきたいと思

(倉阪秀史 会長)

最後に、事務局からお願いします。

(加藤鉄也 環境政策課長)

長時間にわたり、ご審議いただきあり

ありがとうございました。

今年度の環境基金の募集は、今回で終了となります。次回の審査会は、令和4年度の申請を審査する来年3月に開催予定です。審査会の前に開催通知と資料を送付させていただきます。

事務局からは以上でございます。

(倉阪秀史 会長)

以上で足立区環境基金審査会を終了します。若干議事の不手際があり時間延長して申し訳ありませんでした。本日は長時間ありがとうございました。

以上

(会議録署名)

足立区環境基金審査会 会議録記録署名員
(令和3年7月5日 開催)

会 長	倉 原 裕 史
署 名 委 員	多 田 太 郎
署 名 委 員	山 口 昭 二